

## 行政評価事務事業一覧

### 【まちづくりの目標4\_都市基盤・防災・防犯・消防】

#### 施策 4-4\_港湾の整備

	基本計画	事業番号	細事業名称
4-04-01	物流の高度化に対応する公共ふ頭の整備	08284_01	航路泊地整備事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08025_02	臨港道路改修事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08069_01	公共単独継足事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08247_01	港湾・海岸(補修事業)
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08263_01	港湾海岸施設長寿命化事業
4-04-02	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	08268_01	マリーナ施設改修事業

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08284_01		
事業名(行目名称)		航路泊地整備事業	細事業名	航路泊地整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	物流の高度化に対応する公共ふ頭整備	担当課	港湾管理課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及ぶ	数値	118,103人			
	手段(どうやって)	船舶の安全な航行に支障のある、泊地等水域施設の浚渫を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	浚渫を実施することで、物流拠点としての機能を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 38,000千円	
経費		50,000	38,000	38,000			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	50,000	38,000	38,000			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	0	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
緊急に浚渫が必要な水域施設の解消率(事業費ベース)(%)		目標値		11	22	22	42
		実績		11	11	22	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
施設利用者との調整が完了し、浚渫工事を実施しており、概ね計画どおりに進捗している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
計画的な浚渫工事を実施していくため、必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
堆積土砂により水深が浅くなり、港湾施設の利用に支障を来しており、利用者から強い浚渫の要望が寄せられている。航路泊地の維持管理は港湾管理者の責務であるため、計画的に事業を実施する必要がある。限られた予算の中で、緊急性・施設利用状況等を考慮し、引き続き施設の維持浚渫を実施する。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08025_02		
事業名(行目名称)		港湾施設改修事業	細事業名	臨港道路改修事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及ぶ	数値	118,103人			
	手段(どうやって)	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用して整備を進めていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	適切な管理及び改修を行い、施設の長寿命化を図り、港湾施設の安全性と利便性を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 61,334千円	
経費		43,586	61,334	84,000			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	39,300	55,200	75,600			
	その他	0	0	0			
	一般財源	4,286	6,134	8,400			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
単年度整備換算延長(m) (当該年度事業費/全体計画事業費) × 3,250m(整備計画延長)		目標値	88	440	290	290	217
		実績	88	98	492	424	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
概ね計画どおりに工事発注を進めており、鋭意事業進捗を図っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
事業性質に鑑み、事業進捗を図るため必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
港湾施設の安全性と利便性の確保は、物流機能の強化・充実をはじめ、港湾管理者として必要不可欠である。事業の進捗は国庫補助金額の影響を受けることから、国・県からの補助金の確保に努め、事業を継続し、早期の事業効果発現を図る。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08069_01		
事業名(行目名称)		単独港湾施設改修事業	細事業名	公共単独継足事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及ぶ		数値	118,103人		
	手段(どうやって)	港湾施設の建設及び維持・修繕工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	補助対象工事に併せて単独継足工事を発注することにより、施設整備の効率化を図り港湾の利用率を向上させるとともに、適正な維持管理を行い、利用者の安全・安心を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 27,000千円	
経費		30,507	27,000	27,000			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	24,900	21,100	21,100			
	その他	0	0	0			
	一般財源	5,607	5,900	5,900			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
実施件数		目標値	2	2	2	2	2
		実績	2	2	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
関係者との調整が完了し、主な工事は発注しており、概ね計画どおりに進捗している。 老朽化等により施設利用者からの改修要望は年々増加しており、優先度等を踏まえた対応策の検討が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
適切な維持管理の推進を図るため、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
適切な維持管理を行う事で、港湾・海岸保全施設の安全性・利便性が確保される。限られた予算の中で、緊急性・施設利用状況等を考慮し、引き続き施設の改修・修繕等を実施する。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08247_01		
事業名(行目名称)		港湾・海岸補修事業	細事業名 港湾・海岸(補修事業)				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 港湾の整備				
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課 港湾管理課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	護岸背後の防護地域		数値	39ha		
	手段(どうやって)	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用して整備を進めていく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	鋼矢板の腐食に対する補強及び電気防食工事を実施し護岸機能の回復を図ることで、市民の安全・安心を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 12,500千円	
経費		12,500	12,500	12,500			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	11,200	11,200	11,200			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,300	1,300	1,300			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
単年度整備換算延長(m) (当該年度事業費/全体計画事業費)×657m (整備計画延長)		目標値	43	89	62	62	107
		実績	43	68	51	52	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
関係者との調整が完了し、工事発注しており、概ね計画どおりに進捗している。 引き続き関係機関との連絡を密にし事業進捗を図る。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
計画に沿って事業進捗を図るため、必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化していく施設が増えていく中で、計画的に施設の長寿命化を図る事は施設管理者として重要な責務である。事業の進捗は国庫補助金額の影響を受けることから、補助金の確保に努め、事業を継続する事で、安全・安心の確保を図る。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08263_01		
事業名(行目名称)		港湾海岸施設長寿命化事業費	細事業名	港湾海岸施設長寿命化事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	直接的には荷主・海運事業者等港湾施設利用者であるが恩恵は全市民に及ぶ	数値	118,103人			
	手段(どうやって)	維持管理計画・長寿命化計画等に基づき、港湾施設・海岸保全施設の点検及び計画の更新を行い、計画的に修繕・改築を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	点検結果等により施設修繕や老朽化対策工事を実施し、市民の安全・安心を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 13,000千円	
経費		5,500	13,000	13,000			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	5,500	13,000	13,000			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
点検施設数		目標値	84	41	37	37	23
		実績	85	41	28	39	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
関係者等との調整が完了し、点検等業務を実施しており、概ね計画どおりに進捗している。 点検施設が多数あり、職員直営での点検も実施している。現職員数で点検を実施するのは非常に厳しいため、対応策の検討が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
計画に沿って業務を実施するため、必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
港湾・海岸保全施設の適切な維持管理は港湾・海岸管理者として重要な責務である。安全・安心を確保するため、法令点検を確実にし、点検結果を改修等の計画に反映する。							

## 令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08268_01		
事業名(行目名称)		マリーナ施設改修事業	細事業名	マリーナ施設改修事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	港湾の整備			
	基本計画	港湾・海岸保全施設の適切な管理と長寿命化	担当課	港湾管理課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	マリンパーク新居浜利用者		数値	118,103人		
	手段(どうやって)	マリンパーク新居浜の改修・修繕を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	海洋性レクリエーションの拠点として、また、市民の交流の場として、快適に利用できる施設にする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 35,162千円	
経費		7,249	35,162	35,162			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	6,500	29,600	29,600			
	その他	0	3,319	3,319			
	一般財源	749	2,243	2,243			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
改修箇所数		目標値	2	1	2	2	1
		実績	2	1	1	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
工事の発注を行い、概ね計画どおりに進捗している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
起債事業の活用を図るため財政課と協議し、必要額を要求する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
みなとオアシスマリンパーク新居浜は広く地域の方々に利用されている施設である。安全かつ快適に利用していただくため、引き続き改修・修繕を実施し、更なる賑わいの創出を図る。							

## 令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				